

標 題： Antimicrobial Activity of Olive Solutions from Stored Alpeorujo  
against Plant Pathogenic Microorganisms  
貯蔵したオリーブ油抽出残渣由来溶液の植物病原微生物に対する抗菌活性

---

著 者： E. Medina, et al. (スペイン CSIC[科学研究のための評議会] Grasa 研究所)

---

掲 載 誌： J. Agric. Food Chem. 59: 6927-6932 (2011)

---

要 旨： 本研究の目的は、オリーブ油抽出残渣排水が、植物病原性の細菌およびカビに  
対して有する抗微生物活性を *in vitro* で評価することであった。

オリーブ油抽出残渣を6ヵ月貯蔵してから処理して、油、粕(pomace)と新排液  
を抽出し、これはフェノール化合物含量が特徴であった。

新廃液は20%でエルピニア、シュドモナスおよびクラビクターの生菌数を試験管  
内で>4低下させたが、大部分のカビ類の菌糸生長を抑制するには寒天培地中で新廃液が  
50%必要であった。

殺菌作用は低分子量フェノール化合物の共同作用によると認められ、ヒドロキ  
シチロソール、そのグルコシド、ヒドロキシチロソールグリコールmp、グルタ  
ルアルデヒド様化合物も単独ではこの生物活性を説明できなかった。

そのような訳で新廃液は、植物病原性の細菌およびカビと戦う有望な天然溶液  
の構成要素となる。

キーワード： alpeorujo(オリーブ油抽出残渣：「はじめに」で説明)、抗菌性、抗カビ性  
ヒドロキシチロソール、オリーブ油

---